

# — アルリベルタ収納システム 取扱説明書 —

## 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐ為、必ずお守りして頂くこと事を次のように説明しています。



### 注意

 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●絶対にクローゼット、押入、物入内の可動棚やレールの分解、修理、改造はしないでください。怪我や事故の原因となります。不具合が出た場合は弊社、もしくは管理社にご相談ください。</li> </ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クローゼット、押入、物入内の可動棚に乗ったり、ぶら下がったりしないで下さい。お子様を含め人が乗れるように設計されていない為、棚が破損して怪我や事故の原因となります。</li> <li>●クローゼット内のハンガーパイプには衣類以外掛けないで下さい。衣類以外の物を掛けると破損する可能性があります。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; text-align: center;"> <div style="margin: 10px;">                           ぶら下がり禁止                     </div> <div style="margin: 10px;">                           乗り降り禁止                     </div> <div style="margin: 10px;">                           衣類以外の物をかけない                     </div> </div>
 水濡れ禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クローゼット、押入、物入内の全ての棚板に水を濡らさないで下さい。棚板の表面は強化紙です。棚板が濡れた場合は、早急に拭き取って下さい。長時間水滴など付着したままの状態にしておきますと、表面が剥がれ、または棚板がたわむ恐れがあります。</li> </ul> <div style="text-align: center;">                   水濡れ厳禁             </div>
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●洋室クローゼット、和室押入の棚の耐荷重は1枚あたり150kgまでです。※1 (棚の厚さが4cmのクローゼット棚、厚さ4cmの物入棚、厚さ7cmの押入れ棚の事です。)</li> <li>●1箇所に対してクローゼット棚、押入棚の枚数が2枚以上の場合は、合わせて300kgまでです。 (1箇所＝総耐荷重300kg 洋室クローゼット、和室押入の場合) (なるべく棚板全体に重みを分散させるよう荷を置いてください。)</li> <li>●ハンガーパイプへの耐荷重は1本あたり40kgまでです。※2 ただし、一枚あたりの棚耐荷重はハンガーパイプと合わせて150kgまでですのでご注意ください。 (ハンガーパイプへのぶら下がりは大変危険なおやめください。ハンガーパイプが外れる恐れがあります。)</li> <li>●物入の棚の耐荷重は1枚あたり20kgまでです。※1 (棚の厚さが2cmの物入棚の事です。)</li> <li>●1箇所に対して物入棚の枚数が2枚以上の場合は、合わせて160kgまでです。 (1箇所＝総耐荷重160kg 物入棚の場合) (なるべく棚板全体に重みを分散させるよう荷を置いてください。)</li> </ul> <p>※1…耐荷重の検査方法と結果は、棚板1枚辺りの荷重検査で、荷重をかけても破損なしの事です。したがって、荷重が大きくなるにつれ、たわみ量(材料の形状変化)が大きくなる恐れがあります。</p> <p>※2…耐荷重が大きくなるにつれ、たわみ量(材料の形状変化)が大きくなる恐れがあります。 (衣服の参考重量 コート約1～2kg シヤツ約250g)</p>

— 棚の位置を変更する場合 —

①棚板と、ハンガーパイプに掛かっている荷物をすべて取って下さい。

(荷物が掛かったままだと危険ですので、必ず一度取ってから行って下さい。)

②周りに人がいないか、十分注意して棚板を棚受金物から取り外して下さい。

(片方側を上持ち上げてナナメに取り外した方が容易に行えます。)

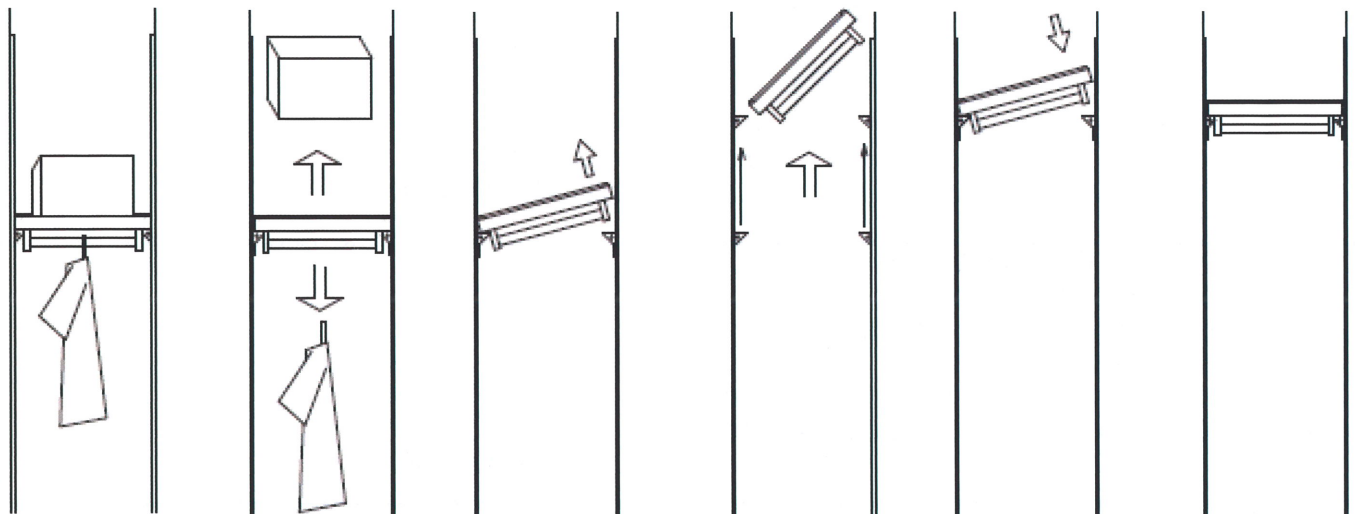
③棚受金物をレールから取り外し、(ナナメ上に上げながら外した方が取りやすいです。)

ご希望の高さまで移動、設置して下さい。この時、棚受金物がしっかりとレールにかみ合っていることをご確認下さい。

④棚を外す時と同様に、周りに十分注意して、棚板を棚受金物の上に確実に設置して下さい。

(個々の棚受金物の引っかかりに棚板が収まるよう設置願います。)

※洗濯機置き場上部の可動棚がある場合のみ、偶発的な衝撃による落下防止のため、位置移動した場合は、棚板(棚受け)を上から軽く叩いてレールにかみ合わすようにして下さい。



可動前

①

②

③

④

可動後



大阪市北区西天満3丁目8番4号  
朝日プラザ西天満1階  
株式会社 テラブルウ

TEL: 06-6355-4655